

事務事業評価表

1. 基本事項 作成日 令和08年06月19日(金)

事務事業		特定健康診査等事業		担当課	保険年金課	担当係	国保給付係	管理番号	17121
総合計画	大項目	1	健康でいきいきと暮らせるまち	事業区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務				
	中項目	2	健やかで元気に暮らせるまちづくり	根拠法令 個別計画等	高齢者の医療の確保に関する法律				
	小項目	1	健康づくりの推進						
	主要プロジェクト								
事業概要		特定健康診査、特定保健指導等を実施し、メタボリックシンドロームの該当者及び予備群を減少させることにより、糖尿病等の有病者を減少させる。							
目的 ※何のために		被保険者の疾病予防のほか、疾病の早期発見と早期治療により医療費の適正化を図り、国民健康保険事業の安定的運営に努める。							
対象 ※誰・何を対象に		深谷市国民健康保険の被保険者のうち40歳～74歳のかた							
手段 ※どのように		特定健康診査を実施し、その結果により、動機付け支援または積極的支援など、本人の状況にあった保健指導を実施する。							
成果 ※何を求めるか		生活習慣の改善、生活習慣病の予防や早期発見を図る。							
執行体制		□職員 ■一部委託 □全部委託 □指定管理 □市民ボランティア □NPO等 □その他()							
事務事業を構成する 予算事業	区分	款		項		目		細事業名	前年度決算額(円)
	特別会計	5	保健事業費	1	特定健康診査等事業費	1	特定健康診査等事業費	特定健康診査等事業	91,343,664
本事業の 主な業務	・ 特定健康診査の実施							・	
	・ 特定保健指導の実施							・	
	・							・	
	・							・	
	・							・	
	・							・	

2. 事業費（投入コスト） 単位：円

区分		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
年度別計画		特定健康診査・特定保健指導・特定健診未受診者の受診勧奨、糖尿病性腎症重症化予防事業	特定健康診査・特定保健指導・特定健診未受診者の受診勧奨、糖尿病性腎症重症化予防事業	特定健康診査・特定保健指導・特定健診未受診者の受診勧奨、糖尿病性腎症重症化予防事業	特定健康診査・特定保健指導・特定健診未受診者の受診勧奨、糖尿病性腎症重症化予防事業	特定健康診査・特定保健指導・特定健診未受診者の受診勧奨、糖尿病性腎症重症化予防事業	
事業費	予算（現額）	145,588,000	153,914,000	141,909,000	111,274,000	122,978,000	
	決算額	94,311,919	100,018,719	95,767,387	91,343,664	0	
	財源内訳	国支出金	0	0	0	0	
		県支出金	69,524,637	46,006,000	91,343,664	87,886,000	
		地方債	0	0	0	0	
		他特定財源	0	0	0	0	
	一般財源	24,787,282	54,012,719	11,008,307	0	35,092,000	
人件費	従事職員数（人）	1.43	1.43	1.30	1.05	1.35	
	人件費相当試算※	11,214,119	11,414,486	10,688,914	8,900,949	11,891,460	
総事業費試算		105,526,038	111,433,205	106,456,301	100,244,613	134,869,460	

※ 人件費相当額試算は、従事職員数に平均人件費を用いて試算したものです。

3. 評価指標

区分	指標名		目標値	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
	目標値の算定根拠/実績値の出所		実績値							
	実績値の算出式									
活動指標 1	特定健診対象者数	目標値	人	22,280.00	21,124.00	20,139.00	20,450.00	19,630.00	18,850.00	
		実績値		22,350.00	21,205.00	19,917.00	19,051.00			
	目標値の算定根拠/実績値の出所		深谷市特定健康診査等実施計画による推計値 / 対象者の実績値							
	実績値の算出式									
成果指標 1	特定健康診査受診率	目標値	%	60.00	60.00	37.00	40.00	45.00	50.00	
		実績値		35.80	37.80	41.10	40.20			
	目標値の算定根拠/実績値の出所		深谷市特定健康診査等実施計画目標値（最新計画より） / 受診者数÷対象者数×100							
	実績値の算出式									
成果指標 2	特定保健指導実施率	目標値	%	60.00	60.00	28.00	34.00	40.00	46.00	
		実績値		22.40	18.70	21.30	14.60			
	目標値の算定根拠/実績値の出所		深谷市特定健康診査等実施計画目標値（最新計画より） / 終了者数÷対象者数×100							
	実績値の算出式									
		目標値								
		実績値								
	目標値の算定根拠/実績値の出所									
	実績値の算出式									
		目標値								
		実績値								
	目標値の算定根拠/実績値の出所									
	実績値の算出式									
		目標値								
		実績値								
	目標値の算定根拠/実績値の出所									
	実績値の算出式									

4. 観点別評価

観点別評価は、指標達成の有無の他、その達成率も勘案して総合的に評価します。
 目標値の設定がないものについても、進捗状況等を踏まえA～Cの三段階にて評価します。
 事業達成度評価は、意図した活動により事業目的に適う成果がでているかを評価します。
 （評価基準）（A:達成している B:おおむね達成している C:達成していない）

（1）事業達成度評価

区分	評価の観点	評価	評価理由・指標数値の推移
活動	・活動実績は、見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか。	B	埼玉県市町村ヘルスアップ事業への参加をはじめ、特定健康診査受診率向上及び特定保健指導実施率向上に係る多様な取組を実施した。
成果	・意図した成果が上がっているか。 ・指標未達成の場合は、その原因を分析できているか。	C	特定健康診査については、データヘルス計画の目標値を達成することができた一方、受診率の上昇ペースは鈍化し、現状の上昇ペースのままであると、令和8年度の数値目標を達成することは困難な状況にある。また、特定保健指導実施率はデータヘルス計画の目標値を達成することができておらず、今後も特定健康診査受診率及び特定保健指導実施率の向上を図る必要がある。
			評価者 国保給付係長 小林 雅亮

（2）事業効率性評価

事業効率性評価は、執行体制や手段など効率的に事務事業を執行しているかを評価します。
 （評価基準）（A:効率的である B:高める余地あり C:効率的でない）

区分	評価の観点	評価	評価理由
効率性	・ICTの活用や業務改善が充分か。 ※検証必須 ・コスト面など効率的に執行できているか。 ・民間委託や他事業との統合・連携が可能か。	A	特定健康診査については、健診機関（メディカルセンター）や個別医療機関に委託することで効率的に運営できている。また、健診機関に特定保健指導を委託することにより、健診実施当日に効率的に保健指導ができている。
			評価者 国保給付係長 小林 雅亮